

掲載内容

- ・峡地連「子育て講演会」
- ・峡東地域の教育活動/イベント等の紹介
- ・峡東教育事務所からのお知らせ

令和5年7月15日 発行

峡東教育事務所教育支援スタッフ (担当) 電話 0553-20-2731 Fax 0553-20-

『あなたの子育て、がんばり過ぎていませんか？～セルフチェックで振り返ってみよう～』

山梨大学教育学部教授・山梨大学教育学部附属幼稚園園長 若本 純子 氏

◇6月29日に甲州市民文化会館で行われた「子育て講演会」からの抜粋です ◇講演録は9月に各所属へお渡します。

1.はじめに

- ・そもそも子どもの理解や関わりは難しく、子どもとの関わりは感情労働で負荷がかかる。
- ・一人ひとりの親の困り感に見合う対応をするためには、子育てを的確にみとる必要がある。



若本 純子 氏

お茶の水女子大学大学院で博士号の学位を取得。白梅学園大学・鹿児島純心女子大学・佐賀大学に勤務。2018年から山梨大学に勤務し、現在は山梨大学教育学部教授・山梨大学教育学部附属幼稚園園長。専門は生涯発達臨床心理学。公認心理師・臨床心理士。

2.子育ての困難さを2つの軸でとらえてみる

- ・縦軸(y軸)に子育てのスタンス
- 横軸(x軸)に子供への態度を設定する(領域が4つに分割される)
- ・縦軸は上側が「支配」下側が「服従」

支配：子を厳しく管理して、親の思い通りに育てようとしていないか

服従：子優先で、言われるがまま振り回されていないか

- ・横軸は右側が「過保護」左側が「拒否」

拒否：子に否定的で、攻撃や放置をしていないか

過保護：子を信頼し任せることができず、世話を

やきすぎているか

- ・「しすぎない」こと、程度やバランスが大事である。

3.「子育てのスタンス」と「子どもへの態度」から具体的に考えてみる

- ・支配には、子の意思を無視し親の価値観を厳しく押し付けるタイプ、期待過剰のタイプがある
- ・服従には、子に流されるタイプ、溺愛しすぎるタイプがある
- ・拒否には、子どもへの悪感情を攻撃としてぶつけるタイプ、無関心を決め込むタイプがある
- ・過保護には、過干渉、心配しすぎがある

4. 子育てのスタンスと子どもへの態度を組み合わせた子育て4タイプ

- ・縦軸 子育てのスタンス×横軸 子どもへの態度
- ・左上ゾーン(支配-拒否)では虐待の疑いや恐れがある。子どもの生命の危険も視野に入れる。不安と罪悪感。アンビバレンツ。加害者が被害者であることもある。
- ・左下ゾーン(服従-拒否)ではネグレクトの恐れがある。難しい子育て。望まない妊娠や出産。理解者や協力者不在。無力感や諦め

・右上ゾーン(支配-過保護)では子への過剰な期待から、教育虐待の可能性。完璧主義。親自身の課題の遷延

・右下ゾーン(服従-過保護)では子に愛されたい。嫌われたくない。親になりきれしていない。子との関係に依存的になる。

5. 子育ての困難は子どもの発達にどんな影響をもたらすのか

・子どもへの拒否的なかかわりは、子の強い怒りや悲しみを生む。世界・他者への絶望。無気力

・「がんばり過ぎの子育て」は過保護・過干渉とも言え、子との距離が近すぎ侵入的になることで、子の主体性を奪い、依存心を生むことで自律と自立が難しくなる。

・アタッチメントとは、子どもが「特定の他者」(母親とは限らない。継続的に世話を提供してくれる相手。親以外に保育者や教員も該当)との関係を求める欲求や行動であり、親を「安全な基地」「確実な避難所」とすることで、認知・社会情動の両面を発達させる基盤となる。

・その中で、親の過保護なかかわりは、アタッチメントにおける「安全な基地」として、子がひとりで探索行動を行うことを難しくする。

・一方、親の拒否的なかかわりは、子が不安や恐怖に陥った時に親が果たすべき「確実な避難所」としての役割、すなわち、子がくつき心の安定を図ることを難しくする。

・さらに、親の矛盾した態度や対応は、子どもを混乱させてしまい、心理的に悪影響を及ぼす。

6. 子育てタイプを子育てに悩む保護者の支援にいかす

・ひとりで苦しんでいる保護者を見逃さない。早期発見が重要である。

・子どもへのかかわりの基本は、子どもが発するシグナルに対する「感性」と「応答性」

・子どもが必要とする時に要求に応えれば十分

・難しい子へのかかわりは「ダメ！」よりも「〇〇しよう」「〇〇して」と、できた瞬間の「ほめ」が原則。あまりに難しい場合は、専門機関などに相談

・支援は①提案・話し合い②試す③フィードバックを保護者と一緒に行う。

・格言「親はなくても子は育つ」

・子育てのゴールは子離れ=子の自立

・Good Enough Mother(ほどほどの子育て)

・子育てを自分ひとりで抱え込まない。「親」ではない「あなた自身」の人生も大切にしていこう？

「思いを込めたバルーンが青空へ」～人権の花贈呈式・人権講話・バルーンリリース～



児童代表に人権の花が贈呈される



バルーンが見えなくなるまで空を見上げる

甲州市立井尻小学校・山梨県人権擁護委員連合会・甲州市役所市民課

5月18日、井尻小学校の全校生徒を対象に人権の花運動「人権集会」が行われました。令和5年度は峡東地区の6つの学校で「人権の花」贈呈式が行われます。人権の花運動は花の種子・球根などを児童等が協力して育てることを通じて、協力・感謝することの大切さを生きた教育として学び、生命の尊さを実感する中で人権尊重思想を育み、情操をより豊かなものにするを目的としています。



みんな集中して講師の話に耳を傾ける

当日は人権の花の贈呈・人権講話終了後にグラウンドでバルーンリリースが行われました。雲ひとつない青空へ上っていくバルーンを見つめる児童たちの真剣なまなざし。思いのこもったメッセージカードと花の種子がつけられたバルーンが、日本のどの場所・どの人に届くかが楽しみです。

「地方自治を学ぶ」～市議による出前授業～ 甲州市立勝沼中学校・甲州市教育委員会



地方自治への関心や理解を深めてもらう

5月26日、勝沼中学校の3年生を対象に市議による「出前授業」が行われました。子どもたちに地方自治への理解を深めてもらう目的で、本年度は甲州市内の全小中学校において実施されます。当日は各クラスを3名の市議が担当し、市議会の役割・議決までの流れ・市長と市議会との関係・議員の仕事についての説明を行いました。その中で繰り返し伝えられていたのは「主役は市民である」という言葉。政治を自分事としてとらえて、地方自治に関心をもつことが重要であり、もっと若者の意見を議会に届けてほしいそうです。8月には市内の小中学生による「子ども議会」が開催される予定です。執行部役と議員役に分かれてSDGs実現に向けたまちづくりに向けた話し合いが行われますが、どんな斬新な意見が出てくるのかが楽しみです。



中学生ならではの意見や質問が出された

「本から始まるおだやかな一日」～PTAによる読み聞かせ～ 笛吹市立八代小学校

6月8日に八代小学校において、PTAによる読み聞かせが行われました。この日は2・4・6年が対象で、2年の4クラスを取材しました。



自身も八代小で学んだことを伝える



ときに子どもたちに問いかけます

朝8時15分になると、八代小の玄関付近には読み聞かせに参加する保護者がぞくぞくと集まってきました。どんな本を選んだのか、どう伝えようかなど、みんなで楽しく話し合っています。八代小では事前に保護者間で読み聞かせの練習をするなど、準備も万端。子どもたちも始まるのを心待ちにしています。読み聞かせ時のレイアウトは教室ごとに異なりますが、子どもたちの集中する姿はどの教室も変わりません。お父さんたちの教室中に響き渡る元気な声とお母さんたちの優しく包み込むような声。10分間の楽しい読み聞かせは、あっという間に終了しました。



優しい語りにもじっと耳を傾けます



本のチョイスも多種多様です

「交流には笑顔が大切です」～アイオワ州スーシティ市の大学生が来県～

山梨市立山梨南中学校・山梨市国際交流促進委員会

5月26日、山梨市の姉妹都市アメリカ合衆国アイオワ州スーシティ市から、モーニングサイド大学生15名が山梨南中学校を訪問しました。

東京・京都・広島を経ての来県で、当日は中学生と部活動体験を行うことで、短い時間ながらも交流を深めることができました。最初は緊張気味の中学生でしたが、一端英語が通じると我先に話しかけていきます。部活動体験ではお互いのプレーに声を掛け合い、ときに大声で笑いながら楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。その後は各自がホームステイ先に向かい、日本での最後の思い出を重ねていきました。今回生まれた小さな交流の種が、いつの日か大きな架け橋になることを願ってやみません。



挨拶時はちょっと緊張気味



時間がたつにつれ本気になっていく



バスケット部女子のコミュカは国際レベル

「福祉体験学習」～体験してみても分かること～ 甲州市立塩山南小学校・甲州市社会福祉協議会

6月5日に塩山南小学校体育館において「福祉体験学習」が行われました。体験内容は「お年寄りを知ろう（高齢者疑似体験）」「視覚障害者を知ろう（白杖・アイマスク体験）」「身体障害者を知ろう（車イス体験）」の3種類。近年の社会福祉の考え方は、「障害者や高齢者などの社会的に立場の弱い人・困っている人に配慮する・助ける」といったことから、「自分を含め、すべての人が住み慣れた地域や社会で幸せになる」という、より広い意味へと変化しています。子どもたちは実際に体験することで初めて分かることがたくさんあり、そこで自分が「どう行動すべきなのか」を考えるようになっていきます。福祉とは「ふだんのくらしのしあわせ」とであるという言葉。これからの社会で大切にしていきたい考え方です。



介助者がいてくれることへの安心感



慣れないとマットに上ることも大変



重りをつけてみて初めて分かる感覚

「山廬(さんろ)での様々な学び」～自然を体感すること～ 笛吹市立境川小学校・山廬文化振興会

境川小学校では1・2年生はどんぐりや落ち葉拾い、3年生は竹林を中心にした自然観察、4年生は俳句で願う七夕飾り、5・6年生は山廬の俳諧堂での俳句教室等、全校児童が山廬での活動に関わっています。6月20日には3年生が山廬を訪れ、竹の観察を行いました。まず理事長の飯田秀實さんから説明があり、その後に母屋の竹林に移動します。3ヶ月で約12メートルも成長する竹。今回はマダケのタケノコを自分



タケノコについての説明を受ける



今日のメニューについての説明



「アジサイは夏の季語だよ」

の方で抜く体験をします。長さが50～100センチのタケノコでも抜くのはなかなか大変です。お互いに声を掛け合いながら力を込めます。タケノコを複数取れた児童が他の児童に分ける姿も見られました。飯田さんはタケノコを切り断面を見せながら、マダケについて説明します。「赤いツブツブが根っこになるよ」「中には小さな部屋があるぞ」などの言葉に児童は興味津々です。今回を含めた自然を体感する多くの経験が、5・6年で俳句を作る際の「一言」に反映されていくのです。

「子どもの読書活動で文科大臣表彰受賞」～日々の小さな積み重ね～ 県立ろう学校



祝・文科科学大臣表彰



SDGsの「貧困をなくそう」がテーマ

文部科学省では子供の読書活動への関心と理解を深めながら読書活動を行う意欲を高める活動を推進するために、特色ある優れた実践を表彰



笛吹川の石に子どもたちは興味津々



ここにもマスコットゆっぴーが隠れんぼ

しています。令和5年度は日頃の取り組みが評価され、県立ろう学校が「文科科学大臣表彰」を受賞しました。図書室に展示された教養行事に触れながら自分なりの考えを持つことや、「お江戸めぐり」「戦国時代」「古代衣装」などの活動を楽しみながら図書室に親しむなどの活動が高く評価されました。図書室の所々には興味を引く仕掛けが随所にあり、子どもたちは自然と本に親しんでいきます。図書室を起点とするコミュニケーションの輪が、ゆっくりゆっくりと広がっていきます。

「森の中で感じること」～自然を通じての非日常体験～ 甲州市立神金小学校



急斜面での作業は大変です



どんな鳥が来るのか楽しみ

6月4日、甲州市塩山上小田原の学校林と甲州市・オルビスの森において「学校P林自然学習会」を行いました。当日は神金小学校の全校児童・保護者など75人が参加しました。まず4・5・6年生は、学校林で橋の修理作業や鳥の巣箱の設置、枝打ち作業など行いました。1・2・3年生は神金小からオルビスの森までを散策しながら、神社や道祖神などを見学しました。その後4・5・6年生とオルビスの森で合流します。親子で16種類の葉の写真と照らし合わせながら、この森にどんな木があるのかを学びました。日常ではなかなか体験することができない伐採作業や皮むき作業などの経験。森の中の多くの経験が自身にとって大きな財産になること。おそらく大人になったときに気がつくはずです。



散策をしながら森へ



丁寧な作業を心がけます

「桃はかせになろう」～地域の魅力を伝えていく～ 笛吹市立一宮西小学校



身近な人の言葉は胸に響くもの



記憶するには「記録」も大事です

5月9日、一宮西小学校の3年生を対象に桃栽培の学習「桃はかせになろう」が行われました。本年度は地域で桃栽培に携わる11名の農家の方が講師として参加し、桃栽培の魅力を伝えてくれました。多くは児童の保護者ですが、他地域から協力してくれた方もいらっしゃいます。山梨県の桃がおいしい理由は3つあって、①日本でも有数の日照量、②水はけの良い土壌、③農家の高い栽培技術とのことです。その中でも、常に新しい栽培技術を開発しようとする意識やその高い技術、それを継承していく人材の力が大きいそうです。講師たちの話術や視覚的なプレゼン資料に児童は釘付けとなり、真剣に聞き入りメモを取っていました。最後の質問コーナーでは多くの児童が我先に手を挙げるなど、活発な意見交換が行われました。身近な人が地元の魅力を伝えてくれたことで、普段何気なく見ている風景も変わって見えるのではないのでしょうか。



疑問はそのままにしない

「わだつみ平和文庫講演会」～受け継いでいくもの～ 甲州市立塩山中学校・塩山北中学校



講師は前甲州市教育長の保坂一仁氏

6月13日に塩山中学校体育館において、塩山中・塩山北中の1年生を対象に「わだつみ平和文庫講演会」が行われました。「きけわだつみのこえ」の原点になったと言われる甲州市出身の中村徳郎さんが残した数々の言葉を聞く中、生徒たちが「平和」という言葉の意味をあらためて考える時間となりました。『私たちの時代、若者の時代が来るまで』『青葉』などの言葉を自分事としてとらえてみると、日常では気にならなかった一言が、実は重要な意味や思いを持っていることに気がつきます。知ることだけでなく、理解して行動することの大切さを知った貴重な時間。実際に平和文庫で本物の資料を目にすることで、より理解が深まるはずです。



自分たちに何ができるのかを考えてみる

「ライバルは昨日までの自分」～峡東地区小学校陸上記録会～



他校の児童との交流の場でもある

令和5年度の「陸上記録会」が東山梨地区は5月23日に塩山総合グラウンドにおいて、笛吹地区は6月13日にJITリサイクルインクスタジアムにおいて行われました。梅雨が近づく中でしたが、両日とも天候に恵まれ、大きな応援の声が響く中で児童たちは自己ベストの更新を目指しました。競技開始の時間が近づくと児童たちの顔には不安や緊張感が浮かびます。「これまで練習してきた成果が発揮できるのか・・・」などの不安でいっぱいです。しかし、いざ競技が始まると前を向き、自己ベストに向けて全力を尽くします。何をやるにも「全力」で取り組まない限りは本質に到達することはできません。この陸上記録会が児童たちにとって貴重な成長の場となったことは間違いありません。



ハードルでは踏み込む勇気も大切



応援席から大きな歓声があがる

「これまで練習してきた成果が発揮できるのか・・・」などの不安でいっぱいです。しかし、いざ競技が始まると前を向き、自己ベストに向けて全力を尽くします。何をやるにも「全力」で取り組まない限りは本質に到達することはできません。この陸上記録会が児童たちにとって貴重な成長の場となったことは間違いありません。



自己ベストを目指しての跳躍

「これまでの努力をぶつける」～峡東地域中学校総合体育大会～

6月に東山梨中学校総合体育大会・笛吹市中学校総合体育大会が開催されました。多くの保護者が応援に駆けつけ、会場いっぱいに声援が響きわたる活気あられる大会となりました。





夢が与えられる時には、必ず実現する力も与えられる。
 しかし、そのために君は、努力をしなければならない。
 — リチャード・バック (アメリカの作家)
 You are never given a dream without also being given the
 power to make it true. You may have to work for it, however.
 — Richard Bach

【 団体競技 優勝校 (地区別) 】

種 目	東山梨地区		笛吹地区	
	男子	女子	男子	女子
野 球	山梨北	—	石和	—
サッカー	山梨北	—	石和	—
ソフトボール	—	塩山	—	—
バドミントン	山梨北	塩山	浅川	御坂
バレーボール	山梨南	山梨南	一宮	御坂
卓 球	山梨南	塩山	浅川	春日居
ソフトテニス	勝沼	山梨北	石和	御坂
剣 道	塩山	山梨北	一宮	浅川
柔 道	—	—	浅川	石和
バドミントン	塩山	塩山	—	—
弓 道	—	—	石和	石和



峡東教育事務所からのお知らせ

6月29日(木)に甲州市民文化会館で行われた「峡東地域教育推進連絡協議会(峡地連)」の総会において、今年度の役員案・事業計画案が了承されました。今年度の役員は以下のとおりです。




会 長 小林 俊彦 氏 (甲州市教育委員会 教育長)	会長1名 副会長4名 参与2名
副会長 荻原 昭 氏 (笛吹市生涯学習課 課長)	副会長 新海 直仁 氏 (東山梨教育協議会 会長)
副会長 坂野 修一 氏 (笛吹市教育協議会 会長)	副会長 望月 公 氏 (県立高等支援学校 桃花台学園 校長)
参 与 霜村 文晴 氏 (峡東教育事務所 所長)	参 与 中村 英彦 氏 (峡東教育事務所 副所長)

令和5年度 峡地連関係のセミナー・講演会について

『保幼・小・中連携セミナー』(笛吹市教育委員会共催)
 日 時 令和5年8月22日(火) 午後3時~5時
 会 場 いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
 内 容 「子どもたちの心をどう育てるか
 ~愛着障害と発達障害の理解とその支援~」
 講 師 日本学校教育相談学会山梨県支部長・公認心理師 内藤 雅人 氏

『人権のための講演会』(山梨市教育委員会共催)
 日 時 令和5年11月16日(木) 午後3時~5時
 会 場 山梨市民会館 ホール
 内 容 「こどものミカタ~不登校を題材に、味方になりたい私のミカタ~」
 講 師 峡東保健福祉事務所地域保健課副主査 芦澤 茂樹 氏

8月22日
 保幼・小・中連携セミナー
 申込QRとリンク



<https://forms.office.com/r/g2MUaJgKxkF>

✉✉✉✉✉✉✉✉ 峡東教育事務所からのお知らせ ✉✉✉✉✉✉✉✉

◆地域情報紙エリアウェブを通じて、「他校種の情報を知ることができる」「連携のきっかけになる」とのお声を寄せていただいております。特別なイベントである必要はありませんので、お気軽に情報をお寄せください。(記事として峡東地域で紹介させていただきます。現在約300カ所に配布中) ☎0553-20-2731(担当・直通)

◆エリアウェブのpdf版は「峡東教育事務所」のホームページからダウンロード可能です。



エリアウェブ
バックナンバー